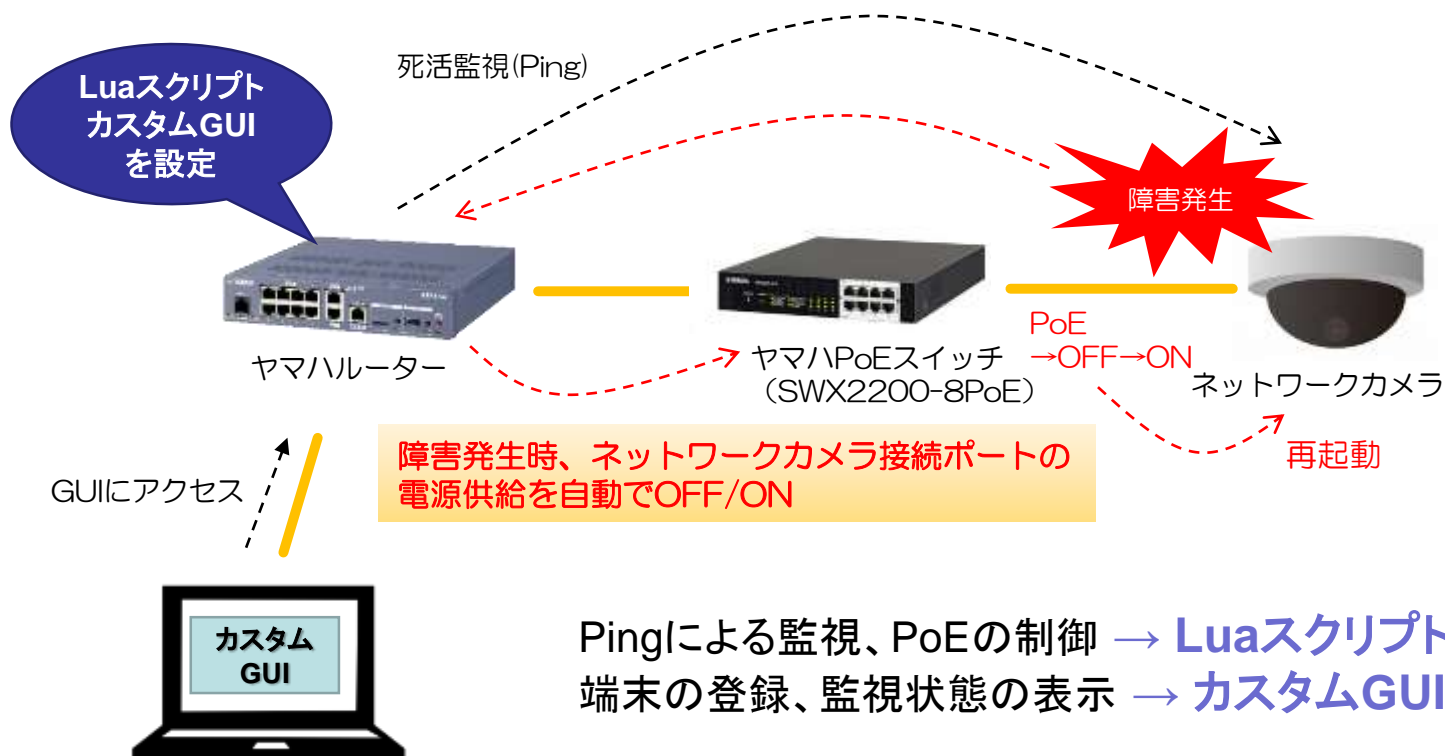


PoE受電端末監視/自動再起動  
デモサンプル



# デモサンプル概要(1)

- ・ 本サンプルではLuaスクリプト、カスタムGUI機能を活用することによりヤマハルーター上でPoE受電端末の監視および自動再起動を実現することが可能です。
- ・ 同一ネットワーク内に存在するPoE受電端末に対してPingによる死活監視を実施し、Pingが不通となった場合配下のPoEスイッチ(SWX2200-8PoEのみ対応)の該当PoEポート給電設定を制御し、PoE受電端末の電源再起動を自動で実行します。



# デモサンプル概要(2)



- ・本サンプルはデモ用に開発された一例です。お客様の使用環境に合わせて表示や動作内容を自由に変更いただくことが可能です。
- ・デモ中にカスタムGUIへアクセスしているブラウザ表示をリロードしないで下さい動作が不安定になることがあります。

## [使用条件]

使用対象ルーター: RTX1210、RTX1200、RTX810、FWX120、NVR500、NVR700W

使用対象PoEスイッチ: SWX2200-8PoE (※)

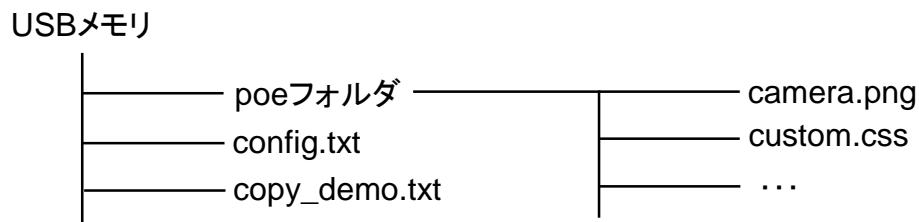
※ 1台のルーターで監視/コントロールできるのはSWX2200-8PoE 1台のみ (PoE受電端末8台まで)となります(現状のLuaスクリプト上の制限であり、改良することで端末数上限は増やすことが可能です)。

# デモサンプルのご準備(1)



## 新規にデモ環境を作成する場合(対象ルーター初期化しても問題ない場合)

1. poe\_demo.zipを解凍しpoe\_demoフォルダ内の全てのフォルダおよびファイルをUSBメモリのルートディレクトリに配置してください。



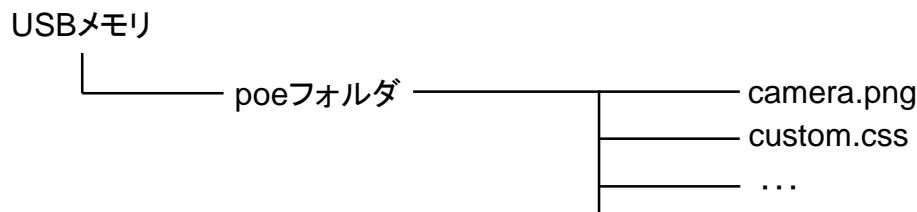
2. 対象ルーターを工場出荷状態にしてください。
3. USBメモリを挿した状態で対象ルーターを起動してください。
4. 対象ルーターが起動した後、DOWNLOADボタンを3秒押してください。  
ピッと音が鳴り必要なファイルが対象ルーター内のメモリにコピーされます。
5. USBメモリを抜いてください。
6. 対象ルーターを再起動してください。

# デモサンプルのご準備(1)



## 既存のシステム環境に導入する場合(対象ルーターに設定を追加する場合)

1. poe\_demo.zipを解凍し、poe\_demoフォルダ内のpoeフォルダをUSBメモリのルートディレクトリに配置してください。



2. 対象ルーターの電源が起動している状態でUSBメモリを挿してください
3. 以下のコマンドでpoeフォルダおよび配下のファイルを全て対象ルーターにコピーしてください。  
“copy usb1:/poe .”
4. config\_diff.txt内に記述されている設定を対象ルーターに追加してください(※)

※ 既存の設定内容に影響がないことを十分にご確認の上追加してください。

# デモサンプルご使用方法(1)

- ・対象ルーターのGUIにアクセス(192.168.100.1)



ユーザー名 : poe  
パスワード : poe  
でカスタムGUIにログインします



アクセス直後にadmin認証が必要なため  
ユーザー名 : poe  
パスワード : admin  
でログインします

※ admin認証のパスワードは管理者パスワードとなります。  
administrator passwordコマンドで設定されたパスワードを  
入力してください。2ページ前のDOWNLOADボタンによる設定  
を行った場合には“admin”を入力します。

# デモサンプルご使用方法(2)

## 初期画面

YAMAHA ログアウト

これはデモ用に開発された一例です。  
デモで使用したカスタムGUIとLuaスクリプトのファイルはサンプルとしてお渡しすることもできます。  
お客様の使用環境に合わせて表示や動作内容を自由に変更いただくことができます。

ログ表示GUI

### 監視対象の登録

監視対象IPアドレス	<input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>
復旧方法	<input checked="" type="radio"/> 自動復旧 <input type="radio"/> 手動復旧

登録

端末登録GUI

### 復旧状況ログ

ログのクリア

### 監視対象一覧

操作対象PoEスイッチ: みつかりません 監視対象情報を保存

No.	IPアドレス	MACアドレス	接続ポート	コメント	状態	復旧方法	削除
<span style="background-color: red; color: white; padding: 2px;">通信を遮断(15秒)</span>							

監視状況表示GUI

# デモサンプルご使用方法(3)

## 手動復旧(手動再起動)によるデモ

これはデモ用に開発された一例です。  
デモで使用したカスタムGUIとLuaスクリプトのファイルはサンプルとしてお渡しすることもできます。  
お客様の使用環境に合わせて表示や動作内容を自由に変更いただくことができます。

### 監視対象の登録

監視対象IPアドレス	<input type="text" value="192.168.100.3"/>
コメント	<input type="text" value="カメラ1"/>
復旧方法	<input type="radio"/> 自動復旧 <input checked="" type="radio"/> 手動復旧

### 復旧状況ログ

「監視対象IPアドレス」、「コメント」(機器名等)を入力、「手動復旧」を選択して「登録」をクリック

### 監視対象一覧

操作対象PoEスイッチ : lan1:2

[監視対象情報を保存](#)

No.	IPアドレス	MACアドレス	接続ポート	コメント	状態	復旧方法	削除
-----	--------	---------	-------	------	----	------	----

入力された機器の情報が監視対象として表示されます  
(8台まで登録可)

5秒



# デモサンプルご使用方法(4)

これはデモ用に開発された一例です。  
デモで使用したカスタムGUIとLuaスクリプトのファイルはサンプルとしてお渡しすることもできます。  
お客様の使用環境に合わせて表示や動作内容を自由に変更いただくことができます。

ログの履歴が  
表示されます

## 監視対象の登録

監視対象IPアドレス	<input type="text" value="192.168.100.3"/>
コメント	<input type="text" value="カメラ1"/>
復旧方法	<input type="radio"/> 自動復旧 <input checked="" type="radio"/> 手動復旧

登録

## 復旧状況ログ

2016/06/16 09:40:31 192.168.100.3の状態が [OK] になりました

監視状態が  
リアルタイムに  
表示されます

## 監視対象一覧

操作対象PoEスイッチ : lan1:2

監視対象情報を保存

No.	IPアドレス	MACアドレス	接続ポート	コメント	状態	復旧方法	削除
1	192.168.100.3	00:80:f0:a3:71:9a	3	カメラ1	OK	手動復旧 <input type="button" value="実行"/>	<input type="button" value="削除"/>

通信を遮断(15秒)

No.	IPアドレス	MACアドレス	接続ポート	コメント	状態	復旧方法	削除
1	192.168.100.3	00:80:f0:a3:71:9a	3	カメラ1	NG	手動復旧 <input type="button" value="実行"/>	<input type="button" value="削除"/>

Ping(3秒に1回)の返事を  
3回Lossすると“NG”と表示されます

# デモサンプルご使用方法(5)

これはデモ用に開発された一例です。  
デモで使用したカスタムGUIとLuaスクリプトのファイルはサンプルとしてお渡しすることもできます。  
お客様の使用環境に合わせて表示や動作内容を自由に変更いただくことも可能です。

「実行」ボタンを押す事で手動で  
PoE端末の電源を再起動できます

## 監視対象の登録

監視対象IPアドレス	<input type="text" value="192.168.100.3"/>
コメント	<input type="text" value="カメラ1"/>
復旧方法	<input type="radio"/> 自動復旧 <input checked="" type="radio"/> 手動復旧

[登録](#)

## 復旧

2016/06/16 0

[ログのクリア](#)

## 監視対象一覧

操作対象PoEスイッチ : lan1:2

[監視対象情報を保存](#)

No.	IPアドレス	MACアドレス	接続ポート	コメント	状態	復旧方法	削除
1	192.168.100.3	00:80:f0:a3:71:9a	3	カメラ1	OK	手動復旧 <a href="#">実行</a>	<a href="#">削除</a>

[通信を遮断\(15秒\)](#)

No.	IPアドレス	MACアドレス	接続ポート	コメント	状態	復旧方法	削除
1	192.168.100.3	00:80:f0:a3:71:9a	3	カメラ1	再起動中	手動復旧 <a href="#">実行</a>	<a href="#">削除</a>

# デモサンプルご使用方法(6)

これはデモ用に開発された一例で、デモで使用したカスタムGUIとお客様の使用環境に合わせて表示が異なります。

「自動復旧」で登録した場合には、Ping監視→再起動が自動で実行されます

「通信を遮断(15秒)」ボタンを押す事で、ルーターが受信するpingを遮断し、通信障害を擬似発生させることができます(※)

No.	IPアドレス	MACアドレス	接続ポート	コメント	状態	削除
1	192.168.100.3	00:80:f0:a3:71:9e	3	カメラ1	OK	自動復旧

通信を遮断(15秒)

端末情報は"/poe/database.txt"  
ログは"/poe/logfile.txt"  
に保存されています

※「通信を遮断(15秒)」ボタンを使用した場合、対象ルーターのフィルタ設定が変更されます。既にフィルタ機能をお使いの場合には使用しないでください。

# パラメーター変更に関して



/poe/monitor.jsファイル中の以下のパラメーターを変更することで基本動作を変更することができます。環境にあわせて適切な値を設定してください。

```
var maxEntryNum = 8;           // 登録可能最大数(最大8)
var pingWaitInterval = 1;      // Pingの待ち時間(s)
var pingExecInterval = 3000;   // Pingの一斉実行間隔(ms)
var pingErrorCount = 3;        // 何回Pingに失敗したらダウンと判断するか
var poeRecoverInterval = 5000; // PoE給電を止めてから再供給までの時間(ms)
var filtersetInterval = 15000; // ICMPのrejectフィルタの適用時間(ms)
```